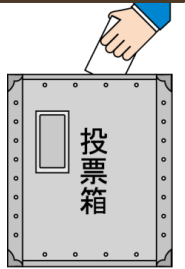


和地ひとみレポート No.159

東大和市議会平成27年度第1回臨時会が終了。議会人事も決定！
本年度開始2ヶ月弱・・・補正予算発生理由は



■第1回市議会臨時会

…5月26日(火)、東大和市議会の臨時会が開催されました。市議会には定例的に招集される『定例会』と『臨時会』があります。東大和市議会の定例会は毎年2月(3月だったが予算特別委員会などもあり2月の後半に前倒しとなった)、6月、9月、12月に開催されています。一方、今回開催された『臨時会』はその名称通り、臨時の必要がある場合に、特定の事件に限って審議するために随時招集される議会です。今回の臨時会は改選に伴う議会人事などを決定することを主な目的として招集されました。

■市議会議長は関田正民議員に決定

…この臨時会では議長を選出するなどの6つの「選挙」と議会内の常任委員会などのメンバーを決める3つの「選任」、農業委員会に議会から参加する委員を推薦する「推薦」1件が行われました。

…議会の議長は、議場の秩序を保持する、議事を整理する、議会の事務を統理する議会を代表するなど重要な役職です。今回の選挙では関田正民議員のみが立候補者となりました。立候補者は立候補表明を全議員の前で行い、それに対する質問を受け付けます。関田正民議員は立候補表明で「公平公正はもとより、開かれた議会の実現を目指す」と表明されました。

…立候補者が1名だと選挙は行わないと思われがちですが、選挙は立候補者以外にも投票できるので行われます。また、議長、副議長の選挙では法定得票数が定められているため、この票数以上の得票がなければ、当選とはなりません。

…今回の議長選は、有効票18票、無効票(≡白票)4票。有効票すべてが関田正民議員への投票だったため、議長は関田正民議員(会派：自由民主党)に決定しました。そして副議長は中間建二議員(会派：公明党)が選ばれました。副議長選挙についても立候補者は1名でしたが選挙を実施。有効票21票、無効票1票で全有効票が中間議員への投票という結果でした。

…ちなみに、東大和市議会では4年の任期の前半2年が終了した時点で、後半2年の議長、副議長を選び直すことが慣例となっています。2年前の議長選では2名の議員が得票同数で、かつ法定得票数を超えた得票でした。このような場合は、地方自治法第118条の規定により準用する公職選挙法第95条第2項の規定によって、当選者はくじで定めることとなっています。このくじは「まず、くじを引く順番を決めるくじ」を行い、その後「当選人を決めるくじを引く」という流れで行われ、最終的には「1」と書かれたくじを引いた議員が議長となるという方法で議長は決定しました。

■常任委員会委員も決定

…議会内には「常任委員会」という委員会が設置されています。これは地方公共団体の議会が、その地方公共団体の一定の部門の事務(≡事業)に関する調査を行ったり、その部門に関する議案、陳情等の審査を行うために条例で常設する委員会として定められています。東大和市では、総務委員会・厚生文教委員会・建設環境委員会の3つの常任委員会があります。

…常任委員会のメンバーは、各議員の希望などを踏まえ、事前に調整はしますが、最終的には東大和市議会委員会条例第8条第1項の規定により、議長が会議に諮って指名することになっています。議長が各委員会の委員となる議員の名前を読み上げ、それに対して議会から異議がなければ最終決定となり、今回も下記のとおり常任委員会のメンバーが決定しました。なお、この常任委員会についても任期前半の2年が経過した後に東大和市議会では見直しを行っています。

【東大和市議会 常任委員会】H27.5.26 選任
◎は委員長、○は副委員長。委員の敬称は省略

■総務委員会■

(委員会の所管)

企画財政部、総務部の所管する事項、市民課の所管する事項、課税課の所管する事項及び納税課の所管する事項、市民会館に関する事項、会計課の所管する事項、選挙管理委員会の所管する事項、監査委員の所管する事項、固定資産評価審査委員会の所管する事項。また、他の常任委員会の所管に属さない事項。

◎蜂須賀千雅 ○押本修 ・尾崎利一 ・大后治雄
・森田憲二 ・関野杜成 ・中間建二 ・床鍋義博

■厚生文教委員会■

(委員会の所管)

保険年金課の所管する事項、子育て支援課の所管する事項、保育課の所管する事項、青少年課の所管する事項、市民生活課の所管する事項(市民会館に関する事項を除く)、福祉部の所管する事項、福祉事務所の所管する事項、教育委員会の所管する事項

◎東口正美 ○和地仁美 ・上林真佐恵 ・二宮由子
・中村庄一郎 ・荒幡伸一 ・中野志乃夫

■建設環境委員会■

(委員会の所管)

産業振興課の所管する事項、環境部の所管する事項、都市建設部の所管する事項、農業委員会の所管する事項

◎佐竹康彦 ○根岸聡彦 ・森田真一 ・実川圭子
・関田貢 ・関田正民 ・木戸岡秀彦

■臨時会に補正予算案を提出

…今回招集された臨時議会は、前述のとおり「改選に伴う議会人事の決定」が主な目的でした。しかし、今回の臨時議会には市長部局側より「補正予算案」が提出され審議することとなりました。

…言うまでもなく、平成 27 年度予算は 4 月からスタートした予算です。スタート間もない 5 月の時点で当初予算通りの執行が困難になった時に、本予算の内容を変更するという補正予算が提出されることは異例と言わざるをえません。

…今回の補正予算の該当事業は「新学校給食センター建設」にかかる費用です。市は予算を組む際に、国から出る「学校施設環境改善交付金」を見込んでいましたが、この度、この交付金が国で採択されませんでした。そのため、市では独自でその分の資金繰りをしなければならなくなったため、補正予算を組む必要が出たのです。また、新学校給食センターを平成 29 年 4 月に予定通り稼働させるため、建設の入札を 6 月に予定しています。費用の目処が立たない状況では入札もおこなえないこともあり、今回の臨時議会に市は補正予算案を提出したという事情もあります。

■新たに 6,070 万円市債を発行

…当初予算上、市が見込んでいた国からの交付金 1 億 2035 万円が得られなくなったことを受け、市では基金（≒貯金）を 5,965 万円取り崩し、それでも不足する分 6,070 万円については市債を発行して対応するというのが今回の補正予算案を提出。また、国のこのような交付金については 2 年単位で見直しが行われることから、来年度の予算で見込んでいた新学校給食センター建設事業費に対する国からの交付金も見込めなくなり、来年度も同程度、市独自で負担する事業費が増加することとなります。

…文部科学省の発表では昨年度の学校施設環境改善交付金が 793 億円だったのに対し今年度は 1,616 億円とおよそ倍増となっています。それなのに、東大和市の要望が不採択となった原因について市は「国からは具体的な理由は示されていない。国も財政が厳しい中、今年度採択された交付金は平成 26 年度に国で採択され継続している事業、そして財政力の弱い自治体を採択の対象とし、予算の範囲内でこれらのものを優先的に採択するという方針を立てていることはわかっている。よって、給食センターは不採択になったと考えている」とのことでした。文部科学省の発表している数字を見ると、確かに交付金の予算は倍増していることがわかりますが、その倍増した額の約 96% は東日本大震災復興特別会計であることから、予算が増額

した対象が防災機能充実等としていることが読み取れます。よって、給食センターについては対象にならなかったと推測できます。

…また、財政力の弱い自治体を優先するという点について東大和市を見てみると、直近の平成 25 年度の財政力指数（※）は 0.838。一般的には財政力指数 0.4 未満の自治体を過疎団体の一要件とするとされていることからみると、東大和市は財政力の弱い自治体とは言えないことがわかります。

※財政力指数：地方公共団体の財政力を示す指標。普通交付税（→地方交付税）の算定に用いられた基準財政収入額を基準財政需要額で割った数値を過去 3 年間について単純平均して求めるもの。財政力指数が 1 をこえる団体を富裕団体と呼び、0.4 未満を過疎団体の一要件とするなど、国が地方公共団体に対する財政援助の程度を決定する際の指標として用いる数値。

■今後については

…尾崎市長就任以来、市は厳しい財政状況でありながら基金を積み立てるなど財政の改善に務めてきました。今回のような事態が発生した際に、取り崩せる基金があることは良いことです。一方で、市債もさらに発行しなければならぬことを考えた場合、まだまだ、財政の改善、安定化への努力が必要だと思えます。

…今回の国の決定により、周辺の自治体でも防災機能強化や老朽化等の大規模改造事業でも不採択になっている例もあるとのこと。中には事業を中止することを検討している自治体もあるとのこと。東大和市においては、新学校給食センター建設については、中止、延期することなく進めていく強い決意のものと、今回の補正予算案の提出にいたりしました。市議会としても、3 月に可決したばかりの当初予算についてこのような時期に補正予算案が出てくることについては諸手を挙げて賛成する訳には行きませんが、一方で学校給食センターの現状を早く改善すべきことを考えた場合、この事業が計画通り進むことを優先させるべきだと考えました。よって、今回の補正予算案は可決されました。…今回の補正予算から考えることは、今後、小さな補助金、交付金関係についても東大和市は一つでも多く採択されるように東京都や国に今まで以上に働きかける必要があるということ。それにより、今回の市債を埋める予算を他から引っ張ってくるということが必要です。そして、新学校給食センター建設については、まずは 6 月の入札が不調にならないことを願うばかりです。市況の変化から、これ以上、建設費用が上がり予算内で収まらなくなった場合の対処については市債発行を際限なく行うわけにはいきません。新学校給食センター建設事業については引き続き注目して行かなければならないと改めて思いました。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前で配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。現在、市議会議員2期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102